

第179回企画展

戊辰戦争を戦った 酒田町兵と農兵

味方

本陣

開催期間：
平成24年 **11月29日**(木)
～平成25年 **2月11日**(祝)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日～1月3日

入館料：一般100円 小学生～大学生50円
※土・日は小・中学生無料

酒田市立光丘文庫蔵「北征記事」(松森胤保著)より

酒田市立資料館

SAKATA CITY MUSEUM

酒田市一番町8番16号 TEL 0234-24-6544

慶応3年(1867)12月25日、江戸を警備していた庄内藩は、浪士たちをかくまう薩摩藩の屋敷を焼き討ちします。この事件により慶応4年1月の鳥羽伏見の戦いが勃発、ついに戊辰戦争が開戦となり、各地で新政府軍と旧幕府軍が衝突します。

5月、庄内藩・会津藩救済のための「奥羽越列藩同盟」が結成され、東北諸藩が新政府軍と対立し、東北全土が戦場と化すのです。同盟藩の離反、戦況の悪化が進む中、庄内藩は本間家の協力で手に入れた近代武器と、士気の高い兵達の力により次々と戦線を突破、同盟から離反した秋田久保田城近くまで攻め込みます。しかし戦争が長引くにつれて戦況は苦しくなり、逆に新政府軍は応援等により勢力を強めていき、ついに庄内藩は降伏します。明治元年9月のことです。

庄内藩はなぜ新政府軍の討伐の対象となってしまったのでしょうか。そして、庄内藩はどのようなルートで、どのような戦闘をおこなったのでしょうか。今回の企画展では、庄内各地から集められた農兵・町兵にも焦点を当て、その経路を辿り、庄内における戊辰戦争について分かりやすく解説します。

資料協力：財団法人致道博物館・林昌寺・酒田市立光丘文庫・松山文化伝承館

庄内藩激動の 幕末・明治



酒田市立光丘文庫蔵「北征記事」(松森胤保著)より

ギャラリートーク&講演会

12月16日(日) 午前10時～

酒田市立資料館にて開催

講師：土岐田正勝氏

(酒田市史編さん委員)

定員：先着20名

費用：無料(入館料別途必要)

※12月1日～14日の間に資料館へ電話でお申し込み下さい。

※席・駐車場に限りがあります。詳細は資料館へお問い合わせ下さい。

酒田市立資料館

SAKATA CITY MUSEUM

〒998-0046 酒田市一番町8番16号 TEL/FAX:0234-24-6544
sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp

次回企画展のご案内

第180回企画展「雛人形とフォークトイ」

開催期間：平成25年2月16日(土)～4月3日(水)

愛らしい郷土玩具と共に、当館が所蔵する雛人形を、春の節句に合わせて展示致します。